

山田方谷の政策紹介

佐藤一斎の高弟



「一斎の高弟 山田方谷の財政再建と日本経済」と題して講演する朝比奈秀夫さん＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

「財政再建、経済振興に尽力」

岩村藩出身の江戸時代の儒学者佐藤一斎（1772～1859年）に学ぶ人材育成講座が、多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開かれた。

（野中準二）

元大蔵省朝比奈さん多治見市で講演

元大蔵省審議官の朝比奈秀夫さんが「一斎の高弟 山田方谷の財政再建と日本経済」と題して講演。方谷は備中松山藩の農民の出身で、藩の重役になり、財政再建を断行した。

厳しい節約令、水田開墾のほか、領内で取れる砂鉄で備中鋤を作らせ、鋤工業を振興させるといった経済振興策で財政再建を成功させたと紹介。「方谷は義のために政策を行った。今の日本も目先の利益や成果ではなく、設備投資や研究開発に

助成や減税をすべきだ」と語った。11月9日、NPO法人いわむら一斎塾理事長の鈴木隆一さんが「儒濃信用金庫のとうしん学者佐藤一斎の家族地域活力研究所が主催する連続講座。次回は「愛」をテーマに講演する。